

足尾小中学校一貫教育グランドデザイン

学校教育目標

夢を持ち、主体的に学び活動する児童生徒の育成

日光市小中一貫教育のねらい

◎小学校と中学校が連携して教育活動に取り組むことにより、教職員の指導力を図り系統性・継続性のある教育により、学力の向上と児童・生徒指導上の課題解決を図る。
◎学校・家庭・地域・関係機関のつながりを深め、共に考え、協力して、学校や地域のよさを生かした特色ある学校づくりを目指す。

目指す児童生徒像

- 夢を持ち、主体的に学ぶ児童生徒
- 考え、伝えることのできる児童生徒
- 自他を大切にし、自立できる児童生徒

目指す教師像

- 確かな指導力・授業力をもった教師
- 人権感覚と教育愛の豊かな教師
- 生徒ファーストの理念で、「チーム足尾」の目標達成のために貢献できる教師
- 地域や保護者と連携し、足尾の子どもの育てるために努力する教師

小中一貫教育で期待される効果

- ◎「学力」の向上
9年間を見据えた、カリキュラムマネジメントを行うことにより、小中の接続を意識した指導を実施することが可能。また、小学校全学年に一部教科担任制を導入し、専門性の高い授業を提供
- ◎「豊かな社会性や人間性」の構築
小中が一同に活動することを通し、互いに思いやり助けあう心を醸成
- ◎「保護者・地域」との円滑な連携
学校行事、PTA行事を一貫校として開催することで、時間的・物理的教育効果の期待
- ◎「中1ギャップ」の解消
9カ年を見通した、児童生徒指導を行うことにより、中学進学に対する不安を解消し、問題行動の減少をはかる



	学年	夢を持ち、主体的に学ぶ児童生徒 (知)	自ら考え、伝えることのできる児童生徒 (徳)	自他を大切にし、自立できる児童生徒 (体)
Ⅰ期 基礎基本 定着期	1	○人の話を良く聞くことができる	○誰とでもなかよくできる	○自分のことが自分でできる
	2	○考えたことを表現することができる	○人に優しくできる	○規則正しい生活ができる
	3	○基礎・基本の事項を習熟できる	○協力して活動することができる	○運動の楽しさを味わい、体力を高めることができる
	4	学習規律の定着	規範意識の定着	基本的生活習慣の定着
Ⅱ期 活用期	5	○身につけた基礎的事項を活用することができる	○正しい判断をして行動することができる	○運動の楽しさを味わい、自分を高めるためにがんばることができる
	6	○コミュニケーション活動を通して考えを深めることができる	○他とのちがいや、相手の良さを認めるとともに、自らの思いを伝えることができる	○生活習慣を見直し、目標を持って計画的な生活を
Ⅲ期 発展期	I	主体的に学習する態度の育成	ちがいを認め尊重する心の育成	望ましい運動・生活習慣の育成
	II	○学習に対して自ら課題を設定し、主体的に学ぶことができる ○社会に一員としてあるべき姿を考え、地域に貢献する意識を持つ	○自他の違いを認め、自分の考えや思いを伝え、他者との望ましい人間関係を築くことができる ○小学生の規範となる行動をとることができる	○心身の健康に関する知識を身につけ、自らの課題を解決することができる ○命の大切さや健康に関心をもち、生活に生かすことができる
教員の資質能力の向上	III	論理的思考の育成	実践力の育成	課題解決力の育成
		○新学習指導要領に基づいた学習方法・評価の改善 ○個に応じた学習の提供	○人権感覚の醸成と個に応じた指導 ○地域人材の活用と関係機関との連携	○危機管理能力の向上 ○命や健康の大切さに対する指導力の向上